

## 京王電鉄株式会社から「気象情報システム更新工事」を受注



最大の特徴はこれまで分割されていた気象観測と地震観測の管理を統合することで、一元化された防災情報を即時に配信することが可能となった事です。従来、別システムで運用されていたこれらの観測システムが統合化されたことにより、指令所や駅などで監視する機器の省スペース化を推進するだけでなく、防災情報として一画面での監視が可能となり、災害に対する初動を早くすることで減災につながられます。

また、各画面はサーバのソフトウェアで処理を行い、パソコンにあらかじめ搭載されている汎用ブラウザ(インターネットエクスプローラ等)で閲覧が可能であるようシステム構成されています。さらにこの各駅に設置されている既設パソコン等に閲覧のためのアプリケーションを搭載していないため、これまで個々に発生していたアプリケーション開発コストが、機能を集約化することにより大幅な低減を可能にしました。

明星電気は京王電鉄株式会社から「気象情報システム更新工事」を受注しました。

このシステムは会社の大きな柱として、防災対策に力をいれている京王電鉄に対して、明星電気の「鉄道防災情報提供システム」を根幹としてカスタマイズした、防災情報を総合的に監視、運用できる画期的なシステムです。

平成19年8月より試験的に運用を開始、京王電鉄が整備している光インフラ網を利用して一括監視、必要に応じて列車無線や各駅に警報出力します。また、2台のサーバによる常時相互監視を行っており、片方のサーバがダウンしたとしても監視を継続できるよう構築されています。



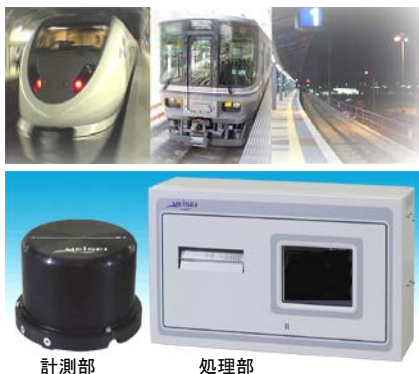
## QCAST® シリーズ東京消防出初式に出陣!

新春6日、ナウキャスト震度計及び緊急地震速報対応QCASTシリーズは最新の消防機材などと共に東京国際展示場(ビックサイト)で行われた東京消防庁の出初めに「出陣」しました。

当日は冷たい雨となりましたが、大勢の方が最新の防災機器を見学に来られ、緊急地震速報の一般開放時期など熱心なご質問を頂きました。QCASTシリーズは突然やってくる巨大地震の脅威から人々の生命と暮らしを守るための、新しい地震防災機器です。17日の「阪神淡路大震災の日」を間近に控え、消防防災関連の方々のみならず、広く一般にもQCASTを知ってもらい、地域や家庭での地震防災への関心を高める良い機会となりました。

平成19年  
出初め式ポスター

「地震の揺れはどうやって計るの？」  
消防少年団の小学生から質問も



計測部

処理部

## 明星電気地震計、JR西日本在来線に採用される

明星電気の地震計がJR西日本(西日本旅客鉄道)における在来線の安全確保を目的に採用されました。地震による線路の被害想定、運行情報への通達等、地震データを得ることによる被害回避の効果は計り知れません。

震度計は地震が発生した時に、その揺れの加速度と周期を利用して『震度』を算出する機器であり、安定した計測と波形情報収集機能等、多彩な機能の搭載で評価も高く受けています。

今後の鉄道防災という観点からも、明星電気は鉄道防災ソリューション事業として日本全国の鉄道会社へ順次販売拡大を目指します。

## FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、～水中から宇宙まで～をテーマに

人と社会の豊かな未来づくりを目指す世界の総合環境観測システムメーカーです。